

2025年1月10日

各位

会社名：SUMINOE株式会社
 代表者名：取締役社長 永田 鉄平
 コード番号：3501 東証プライム市場
 問合せ先：執行役員経営企画室部長
 水野 明秀
 (TEL 06-6251-6803)

2025年5月期第2四半期（中間期）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年7月12日に公表しました2025年5月期第2四半期（中間期）連結会計期間業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。なお、本業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。

記

1. 2025年5月期第2四半期（中間期）連結会計期間業績予想の修正（2024年6月1日～2024年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （2024年7月12日発表）	51,200	1,000	1,100	300	44 41
今回修正予想（B）	50,690	740	445	65	9 67
増減額（B - A）	△510	△260	△655	△235	—
増減率（%）	△1.0	△26.0	△59.5	△78.3	—
（ご参考）前年同期実績 （2024年5月期第2四半期）	51,409	1,405	1,693	753	116 07

2. 修正の理由

2025年5月期第2四半期（中間期）連結会計期間の売上高は、主力事業である自動車・車両内装事業において、車両関連は、1世紀以上にわたりトップシェアを誇るマーケットリーダーとして鉄道・バス向けともに回復傾向が続く需要に的確な対応をしたことで計画を上回るものの、自動車関連は、北中米拠点での短期的な受注変動による生産効率の悪化や中国国内の新たな電気自動車メーカーの台頭等に伴う主要取引先の大幅な減産、東南アジア各国の社会情勢を背景とする日系自動車メーカーの生産台数減少の影響を受けました。また、インテリア事業でも、新規プロダクト開発や新規受注に向けた先行投資を含めた取り組みを行ったものの当中間期の売上高の増加に結びつかなかったことなどから、2024年7月12日に公表しました前回発表予想を下回る見込みです。利益面では、特別利益において投資有価証券売却益を計上したものの、減収に加え、営業外費用において持分法による投資損失及び為替差損を計上したことなどから、各段階損益においても前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平均為替レートが計画比円安で推移することにより売上と利益面への寄与が期待されるものの、自動車メーカーの生産計画、販売計画の見直しによる影響など事業環境及び経済情勢の精査中であるため、前回発表予想を据え置いております。今後、連結業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

※ 上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上